

名称 構造用合板を用いた在来補強工法

連絡先

電話

技術概要 建築基準法で壁倍率が指定されている構造用合板補強

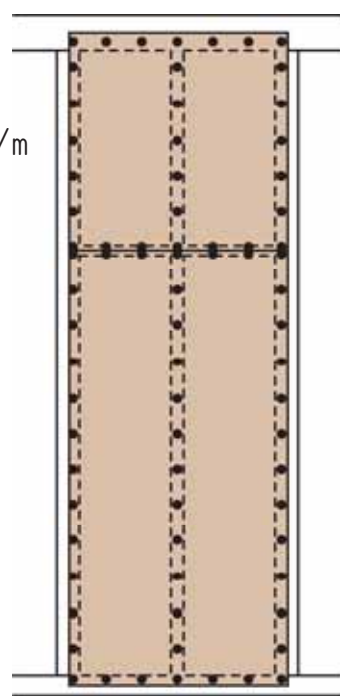
技術の特徴 ・ 一般流通品なので取り扱いが容易。

実験実施機関

図・写真

壁強さ倍率：5.2kN/m

・ 釘 N50  
@ 150以下  
四周打ち

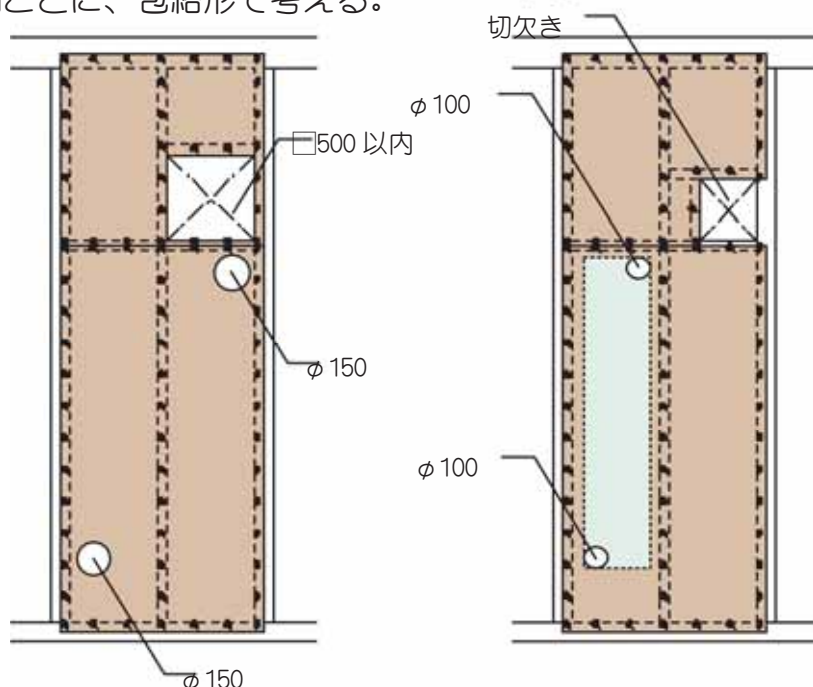


切欠き

認めない。ただし、部分開口構造用合板補強に該当すれば、それに準ずる。

穴あき（開口・孔）

- ・ 棧（胴縁）を切り欠かない□500mm以下の穴は可。
- ・ 複数個ある穴の大きさは、構造用合板や棧（胴縁）に囲まれた区画ごとに、包絡形で考える。



左：OK

区画毎に□500以内

右：NG

区画内の包絡形が規定超 切欠き不可



1. 既存外壁



2. 外壁撤去、金物確認、補強



3. 構造用合板補強



4. 仕上げ材下地